



# 別れと 旅立ちの時

関西大学学長 河田 悌一



平成17年乙酉(きのと・とり)の年、西暦2005年3月陽春の候、創立119年の歴史と伝統をもつ関西大学を卒業される学生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

卒業生のみなさんは、4年前の4月、大いなる夢と希望を胸にいだいて、関西大学のそれぞれ7つの学部に入學してこられたことと思います。そして、多くのことを学ばれました。選挙権をもつ成人となり、専門の学業を修め、幅広い教養を身につけ、文化、スポーツのクラブ活動、あるいはサークル活動、またインターンシップやボランティアやアルバイトなどを通じて、人間的に大きく成長されたことでしょう。

「人生とは無数の出逢いを一枚のキャンパスに縫いとっていくことだ」といわれるように、さまざまなところで多くの人たちと出逢い、生涯の友人と先生をえられたことと思います。

そうした数々の想い出を胸に、みなさんは今日、この学園に別れを告げ、各自の道に旅立っていかれるので

す。別れは悲しく、つめたい涙をさそうものであります。夏目漱石は、次のようにうたっています。「海南 千里遠く、別れんと欲して 暮天寒し」と。

しかし、ひとつの別れはまた、新たな出逢いへの旅立ちのときでもあります。卒業生のみなさんには、これから社会にでて、それぞれ異なったところ、職場で、また新たな人びととの出逢いがあります。29万人を数える関西大学の卒業生、校友との出逢いを含めて。

関西大学を卒業されるみなさんは、これから多種多様な職種の仕事に就かれることでしょう。そこには、おそらく大きな期待とともに、漠然とした不安感もあることだと思います。なぜなら、21世紀の現代がきわめて不確かな時代であり、日本そして世界は、必ずしも平穏無事なものではないからです。不合理で無情な事件、想像を絶するような悲惨な出来事が、多発しているからであります。

国家や民族の枠を越えて、まさにグローバルなかたちで、爆破、テロ、戦争、拉致、さらには自然災害が起きています。そのような大変な時代に、私たちは生きていくのです。

でも、みなさんには、私にはもうない年齢的な若さがあります。その素晴らしい若さをもとに、みなさんは学理と実際、学問と実践の調和をはかる「学の実化(じつげ)」を大学の理念とする関西大学で学んだことを活かし、自らの正しいと信じることを堂々と発言し、行動して行って欲しいと思います。

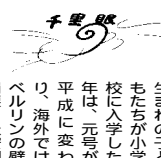
ときには、苛酷な状況のもとで、悩み、苦しむことも少なからずあるでしょう。しかし、「熱意と勇気」をもってさまざまな困難に立ち向かっていく関大の伝統、関大人の強さを継承して行っていただきたい、と希望します。

ユーモアと笑いを忘れず、品格ある健全な人として、「己れ(の利益)を忘れ他を利する」精神、他者へのおもいやり、またこれまでみなさんを支えてくださったご両親やご家族への感謝をいつも胸に、この学園を旅立って欲しい。と私は心から願っています。漱石は、いっています。「門を出でて思う所多きも、春風 吾が衣を吹く」と。

すべての卒業生のみなさんの門出にさいし、その未来に、幸多きことを祈っています。

## HEADLINE

8 6 4 2  
面 面 面 面  
私の学んだ関西大学4年間  
卒業するみなさんへ  
特集 夢語りを置きみやげに  
平成16年度卒業式を挙行  
また、入学した校に入学した年は、元号が平成に変わって海外ではベルリンの壁崩壊・天安門事件などが相次いだ。その後バブルがはじけ、長引く不況は多くの人の家庭生活を圧迫してきた。低成長期に入り、これからの年金も不透明で、これから社会に飛び立つとする若者には、この先景気の悪い話ばかり期待できない。しかし、いたすらに未来を恐れる必要はない。人類の歴史の中で、これほど豊かな時代はなかった。であり、多少不景気が続いても即座に将来を悲観すべきではない。紀元前後のインド人たちの生活は、極端に貧しいものだった。しかし、彼らの残した文書には、日常生活への不満足などは少なく、むしろ将来への希望に満ちあふれていた。今こそ向かの発想の転換が必要であり、そうした努力こそが将来への希望を生むものと信じたい。今年もまた、多くの卒業生を世に送り出す。ぜひ関大卒業生としての誇りと自覚を持って邁進して欲しい。できれば感謝の気持ちも忘れずに(伏見 英俊)



一九八二年  
生まれの子  
もたちが小  
校に入学し  
年は、元号  
平成に変わ  
り、海外では  
ベルリンの壁  
崩壊・天安門  
事件などが相  
次いだ。その  
後バブルがは  
じけ、長引く  
不況は多くの  
人の家庭生活  
を圧迫してく  
てきた。低成  
長期に入り、  
これからの年  
金も不透明で  
、これから社  
会に飛び立つ  
とする若者には  
、この先景気  
の悪い話は期  
待できない。し  
かし、いたす  
らに未来を恐  
れる必要はな  
い。人類の歴  
史の中で、こ  
れほど豊かな  
時代はなかつ  
た。であり、  
多少不景気が  
続いても即座  
に将来を悲観  
すべきではない  
。紀元前後の  
インド人たち  
の生活は、極  
端に貧しいも  
のだった。し  
かし、彼らの  
残した文書に  
は、日常生活  
への不満足な  
などは少なく  
、むしろ将来  
への希望に満  
ちあふれてい  
た。今こそ向  
かの発想の転  
換が必要であり  
、そうした努  
力こそが将来  
への希望を生  
むものと信じ  
たい。今年も  
また、多くの  
卒業生を世に  
送り出す。ぜ  
い、ぜひ関大  
卒業生として  
の誇りと自覚  
を持って邁進  
して欲しい。か  
できれば感謝  
の気持ちもわ  
れずに(伏見 英  
俊)





# 第9回先端科学技術シンポ開催 講演72件、展示70点超す

## 参加700人、熱こもる質疑、相談 研究成果に高まる関心



先端科学技術シンポジウムは、一月十七日・十八日、京都大学教授 平尾一之、本学の先端科学技術の氏、大阪大学教授・アンジ研究および文部科学省、経 エスエフ(株)取締役 森 濱賢明・相談が寄せられる、経済産業省のプロジェクト、下竜一氏の特別講演を始研究の年間の研究成果のめ、十五件の招待講演、五

十七件の一般講演を行い、展示口にては七点を超える技術シーズを紹介した。産業界、公共団体、教育関係団体から約七百人の参加を得て、盛会のうちに閉会した。

セッションや展示口にて、その研究成果による社会選元が期待されている。先導科学技術推進機構事務(先導科学技術推進機構事務)

受賞  
産業界目録千年記念産  
業教育振興全国大会  
産業教育功労者文部科学  
省大臣表彰  
第七回ビジネスアイデア  
コンテスト  
優秀賞(第二位)  
工学部 教授 田村 担之  
商学部 二年次生 坂本小津  
工学部 助手 米津 大吾  
(受賞日：平成十六年十一月二十五日)  
(受賞日：平成十七年三月十八日)

獲得に結びつけた。この試合で精神面の成長を見た高橋さんは、逃げるの逆に出場を決めている世界選手権に向けて、確実な手応えをつかんだようだ。  
(スポーツ振興課)

### 指定校推薦、帰国生徒が

## ひと足早く関大生気分

### プレ・ステューデント・プログラム

文 学 部

文学部は、指定校推薦・帰国生徒・AO・SF入試で入学予定の新年次生を対象に、プレ・ステューデント・プログラムを実施し、今年もレッシュな新人を迎えるため、独自に工夫したプログラムを、全専修で実践した。たとえば、哲

がある。受講生は仮パスワードを入力すれば、自らに居ながらにしてオンラインで準備された講座や教材を見ることができ、即座に質問をすることもできる。このシステムは英語英文学や中国語中国文学などの専修が取り入れた。本プログラムは、明日の関大生を育成する第一歩である。これからも、充実した内容で、意欲的に展開していく予定である。

飛躍  
世界で活躍  
高橋 大輔さん  
本紙前号(第323号)で既報のとおり、アイススケート部の高橋大輔さん(文一)がヨーロッパ冬季大会(男子フィギュアスケート)において、ショートプログラム二位、フリー一位となり、逆転優勝で金メダルを獲得した。続いて第六十回国民体育大会冬季大会スケート競技大会において初制覇を果たした。

獲得に結びつけた。この試合で精神面の成長を見た高橋さんは、逃げるの逆に出場を決めている世界選手権に向けて、確実な手応えをつかんだようだ。  
(スポーツ振興課)



### 総合情報学部生が実地指導

丸橋小学校の五年生百二十人が本学高槻キャンパスに来学。スタジオで番組作りを体験した。午前・午後チームに分かれ、さらにそれぞれ約二十人ずつのグループで、クイズやダンスなどの出し物を披露。カメラ、音声、照明担当の子もたちがそれを収録した。本学では、三保田賢二、佐野健三、そして私のゼミの学生総勢十八人が、スタジオ機材の操作指導と補助、子どもの誘導などにあたった。

見学に行くのだが、実際に自分たちで機器を操作する体験は望みにくく、なってきた。この單元はあふれる情報の中から、必要なものを吟味し、自分の暮らしに活用する。メディアアリアラシーはメディアを使った表現、情報の背景を読み取り、自分の暮らしに活用する。メディアアリアラシーはメディアを使った表現、情報の背景を読み取り、自分の暮らしに活用する。

子どもたちは、家庭用機器とは全く異なる業務用機材の複雑さ、スタジオの大きさ、背景を照らす照明の美しさなどに驚きの声をあげ、真剣に制作活動に取り組む子どもたちも、自分の番組と日々頃見ている番組を比べるなどしながら、メディアアリアラシーの学習を深めて欲しい。

今年もレッシュな新人を迎えるため、独自に工夫したプログラムを、全専修で実践した。たとえば、哲学やフランス語フランス文学などの専修によるスクーリングでは、教員による講義、e-Learningの導入(文一)

### 地元の小学生がスタジオで番組作り



真剣に制作活動に取り組む子どもたち

かす力をさす「メディアアリアラシー」を育成するための重要な單元である。通常、この学習に合わせて新聞社や放送局に

分て使う活動が運動して展開されて育つと考えられている。今回のスタジオ体験は、それをねらったものであった。

「会社は9時～5時。アフターファイブはあれの自由」と考える人は多いと思うが、毎日、夜の9時、10時は当たり前と、特に社会人1年生のときには相当の覚悟をしておいたほうがよい。

センターと自宅との区別がつかない学生もいないわけではない。センターに一步踏み入れたら、そこは「就職活動」の延長線だ。心で、きちんと挨拶する学生なら、企業でも誠実に対応できるにちがいない。

な、同選手権大会は笑いによるまじりくりにめざす岐阜市を支援しようとして、昨年からはじめた。今回は全国二十八大学九十二人の学生が出場、決勝ステージには、前回の予選を勝ち抜いた六人の精鋭が登場し、約千三百人の観客の爆笑を誘っていた。  
(学生生活課)

## 昨年の東京就職活動は延べ600人



晴れて社会人1年生昨年「就職活動」で東京センターを活用した学生諸君は、延べ600人になった。2月から8月までの6か月間では550人である。

東京で「就職活動」した人のすべてが東京で就職するとは限らないが、かなりの数の社会人1年生が東京の土を踏みと考えてよさそうだ。

何度か触れているように、今や大企業の8割が本社機能を東京に集中させている時代である。社会人として一度は東京暮らしを体験することが、これからの企業人人生には欠かせない。

私は、毎日のように新社会人を見ているが、大学時代には考えられなかったような厳しさに耐えられない。

センターでは、学生が少なくなるが、センターと自宅との区別がつかない学生もいないわけではない。センターに一步踏み入れたら、そこは「就職活動」の延長線だ。心で、きちんと挨拶する学生なら、企業でも誠実に対応できるにちがいない。

17年度就職活動は、東京センターへ来場して足を運ぶ企業関係者の話によれば16年度よりも間口が広いようである。昨季は、東京センターにおける就職活動支援だったため、センター側にも一層のサポートが求められた。

センター側にも一層のサポートが求められた。センター側にも一層のサポートが求められた。

センター側にも一層のサポートが求められた。センター側にも一層のサポートが求められた。

センター側にも一層のサポートが求められた。センター側にも一層のサポートが求められた。

センター側にも一層のサポートが求められた。センター側にも一層のサポートが求められた。

センター側にも一層のサポートが求められた。センター側にも一層のサポートが求められた。

センター側にも一層のサポートが求められた。センター側にも一層のサポートが求められた。

センター側にも一層のサポートが求められた。センター側にも一層のサポートが求められた。

センター側にも一層のサポートが求められた。センター側にも一層のサポートが求められた。

センター側にも一層のサポートが求められた。センター側にも一層のサポートが求められた。

(東京センター長 石山 博康)




# My dream

## 夢語りを置きみやげに

さっぴ関大のその日、巣立ちゆく人びとから、人生のひのき舞台を夢見るすてきな自分語りが届きました。これからの仕事に直結するものもあれば、いまはがまんの日どころ、地力をつけて活路発見もあるし、見果てぬ夢に終わらせまいとする決意表明もあるといったぐあいで、色とりどりの肉声が聞こえてきます。

地球規模でせちがらくやるせないご時世であればこそ、大目標にむかって疾走してやまぬ夢追い人に喝采を惜しんでほらないでしょう。

### 町のエンターティナー



アナウンサーになる。小学生の時から夢だった。理由は簡単。大好きなプロ野球を一番近くで感じられる仕事だと思ったからである。


期待に胸を躍らせて高校入学と同時に放送部の門を叩いた。しかし、ここで現実を突きつけられることになる。僕の声はアナウンスには向かない「こもった声」だったのだ。コンテストに参加しても予選落ち。夢半ばで諦めることになった。

こんな僕に転機が訪れたのは大学への入学。成人式を迎え、堂々とお酒が飲めるようになった時からの「仕事」は始まった。お酒の席が僕のステージである。視聴者こそ少ないが、僕の仕切りで盛り上がる雰囲気は今までにない快感を覚えた。

そうだ。僕は町の司会者になる。舞台はブラウン管の中だけでなく、地域のお祭りや運動会でどきどき名調子を残していく。僕のアナウンサーとしての仕事は始まったばかりだ。

法学部 豊田 健作

### 私の志望理由書



働きづめの私の母は、子どもを社会のために育てた人だ。「てこたを一生懸命育ててから、社会の役に立つ人になってね」。

私が将来弁護士になって人を助けられる仕事をしようと思ったのは、母のこの言葉が頭の片隅にあったせいかもしれない。

卒業後の今年5月、私は人生2度目の司法試験を受験する。運用次第では非常に無機質なものになってしまう法律を、適切に解釈して、周りにいる大切な人々を助けたい。今は試験合格に向け、猛勉強中だ。

人を助けるためには、まず自分を知り、そして自己を確立しなければならない。「これならやれる」。そう確信したものを掲げて、目標達成に向けて真摯に努力しなければならない。夢は追うものでもあるが、それをつかみ、社会に貢献してこそ、本当に価値のあるものになる。

少し大ききかもしれないけれど、卒業するにあたり、今、私は強くそう思う。

法学部 又賀 輝子

### 障害を個性として生かす




私は日常生活において車椅子を使用している。毎日を車椅子で生活していると不便と感じることが数多くある。現在、バリアフリーやユニバーサルデザインといった言葉がよく聞かれるが、現実にはそのような対策がされているところは数少ない。

そこで、私は誰かに生活しやすくしてもらおうのを待つのではなく、自分から意欲的に改善していきたいと思う。そうすることで、障害者であることを欠点ではなく、私の個性として生かしたい。

卒業後は地方自治体で働くことになるが、多くの住民の話を積極的に聞き、障害者、高齢者はもちろんのこと、すべての人が安全で快適に生活できるようにまづづくりをしていきたい。

工学部 田村 陽子

### 人に優しいSE



4月からシステムエンジニアへの道を歩み始める。

その道先で、私は使う人が操作に悩まないシステムを作りたい。加藤隆先生のゼミで、「ユーザビリティ」について勉強してきた。

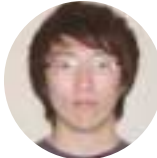
特に、システムの設計段階において、画面表示などの問題点を発見する方法に取り組んできたことを生かして、使いやすいシステムを実現したい。

「これはとても使いやすいシステムですね」と評価されるのではなく、そのシステムの利用者に問題点を尋ねた時に、「いや、特になかったような気がする」となるとは嬉しいし返事が戻ってくるような、悩みそのものを意識させないような、そんなシステムを作りたい。

そして、そのとらえどころのない返事を聞いて、私は、ひそかにニカッと喜んでみた。

総合情報学部 村角由美子

### 起業したい




私の関大生活は10年におよんだ。関大一中、関大一高、関大と進んでいくなかで数多くの友人と出会い、さまざまなことを勉強し、経験することもできた。これからはこの10年間で得たものを存分に発揮したいと思う。起業家をめざしたい。

鶏口牛後という私の好きな四文字熟語がある。牛の後方であるよりも、小さくてもいいから鶏の口になれ。つまり大きな会社の一社員であるよりも小さくてもいいから自分で会社の舵をとれということである。

強い信念を持ちながら毎日過ごしていれば近い将来必ずできると自分自身で信じている。今はがむしゃらにそこまで走り続けたい。たどりついたら新たな目標をどんどん作り出したらいいだけだ。私の人生行路に終わりはないのである。

総合情報部 安田 秀存

### 智を愛し



大学へ入学する前に考えていたことがある。大学在学中に考え続けていたことがある。そして、おそらく、卒業し、就職してからでも考え続けるであろうことがある。


その問いが私を哲学を学ぶという道に導き、私にものを考えるということの繊細さを教えた。この問いを核として、今の私を構成するあらゆる問いが導き出されてきた。

もしかしらたら、いつの日にか、この問いの答えが出るかもしれない。もしかしらたら、いつまでも答えは出ないかもしれない。私にとって、この問いを問い続けていくということそのものが今現在を生きていることであり、答えが出るということ即ち未来である。

そして、私はその未来を待望しつつ、今を紡いでいくという願いをいつまでも持ち続けていきたいと考えている。

文学部 新谷大二郎

### 地図に残る仕事




私は「地図に残る仕事をする」ことを切望している。学科が土木工学科ということで、私の就職先は、建設業のコンサルタント会社だ。主に橋や道路等の社会資本の設計を行うのだが、私の設計したものを利用した人が、「これができてよかった。役に立つことまちがいない」と喜んでくれたら、どんなにうれしいことだろう。

この4年間に、たくさん友人が出た。酒を飲み将来を語り、そしてそれを実現させるために今何をすればいいかと、話は尽きなかったが、この春から社会人。友人のほとんどが同じ職種となる。信頼できる友人と共に行きたい仕事を、世界中の人に喜んでもらえるよう、何事にも全力投球していこうと思っている。

工学部 久下 典宏

### 生きるって何だろう




初めて人生設計を考えたのは就職活動の時である。第1希望の内定通知は届かなかった。生きる意味がわからなくなったが、皮肉なことにそれで異なる職種から内定通知が順調に届いた。

私の抱いた念願に縛られて周りが見えなかったに違いない。このようなことは世間ではよくあることなのだと知って、ふっ切れたからだろう。

卒業を前にした今改めて、自律し、自立していける人間として、社会人としてきちんと生活していかなければと、決意を新たにしている。今思えばこれが就職活動を行った最大の理由であり、今の私の目標でもある。目標達成に向けてひたすら突き進もう。それが現時点での生きるということだろうか。

工学部 山田 裕一

### 未来にむかって




いよいよ卒業する時がきて、今は胸がいっぱいである。学生生活が名残惜しい気もするが、後を振り返らずに未来にむかって生きていきたい。

これからは、働く職場で大学生活の経験を生かしながら、仕事することが大切である。社会人として働くことに今も不安があるけれど、悩んでいても仕方がないのだ。

高校のインターンシップ、老人ホームや養護学校の訪問、教育実習やアルバイトなど、学生の頃の経験をバネにして仕事に取り組んでいきたい。また、4年間で出会った友人や先生と作った思い出を忘れず、これからの多くのお出合いを重ねていければと念じている。そのような志をもって社会人として生きていくことを自分に誓っている。

文学部 佐地菜保美

### 世の光




伝えたい思いがある。ありのままの自分が「世の光」であることだ。時に人は、他人と自分を比較して自己嫌悪に陥る。「私はあの人のように綺麗じゃない」とか「私にはあんな才能がない」とか、そういうことばかりに気が走ってしまう。

私は言いたい。人の価値は「何がができる」という能力以前の問題である。良い子を演じてみるだけで、何が他人よりも抜きん出ているか、何かの偉業を成し遂げなくてもいい。誰とも比較する必要なんてない。私たちはただ存在しているだけで、光である。

私は信じている。私にしかできない特別の働きのために存在し、意味と目的を持って生きていることを。私たちの存在価値は、考えもしないほど、大きいのである。

総合情報学部 東尾 有香

### ありがとう関大



あっという間に、関大での留学生活が終わろうとしている。日本の目を達成させたい。


4年間の留学生活でいろいろな経験があった。2年次生の時、関大留学生会会長に当選して、各国留学生たちと一緒に国際交流活動に参加して、国際コミュニケーションをやって楽しかった。

卒業後は、就職して日中貿易に関する知識を充実させるだけでなく、柔軟性に富んだ能力が身に付けられるよう頑張りたい。

関大での留学生活をいつも応援してくれた国際交流センターのみなさまに対して、感謝の意を表したい。現実がいくら厳しいものであっても、前向きな態度と強い自信を持っていけば、それを乗り越えられると信じるようになった。

商学部 郭 肇宏

### 笑顔いっぱいの毎日




似合わないスーツに辟易しながら臨んだ入学式。それから4年が過ぎ、遂に私は卒業式を迎える。泣いて笑って駆け抜けた大学生活は、思い出せば毎日がキラキラした思い出であふれている。

この春、私は社会に出て自分自身の手で人生を築き上げてゆく義務と責任を負う。今までのように守ってもらえることは、もうない。重圧を楽しめるほど大人になるには修行の足りない私であるが、もっと勉強して力をつけて、この人生を可能なかぎりたっぷりと楽しみたい。

願わくは、これからは卒業生のように明るく笑っていられるように。うつむかずまっすぐに前を見て、関西大学のキャンパスのように広々と光輝く、豊かな人生を創り上げていこう。

商学部 高田 芳江

### 私のエネルギー




私は私の言葉で語りたことがたくさんある。思ったこと、考えたこと、そして社会に訴えたいこと。今の日本社会は多くの人にとって、とても生きにくいところである。いや、誰でも一度はこの世の中が生きにくいところだと思ったことがあるはずだ。それを今までは何かと社会を作っている社会人、「大人」のせいにしてきた。

しかし4月から私もそんな社会人の仲間になる。私は何かメッセージを伝えることで、社会を作っていく。できるものなら社会を変革を起したい。私の好きな音楽でもいい、映画でもいい、演劇でも絵でもなんでもいい。そういうものにかかりながら、何かを訴えたい。それが私のこれからのエネルギーである。

社会学部 長岡 智

### もっと勉強しなくては




大学卒業後、貿易関係の仕事に就くつもりだったが、現在は大学院入学を決意した。進路が変わった理由は自分の理想が年齢とともに変わってきているからだ。商学部でも商学専攻以外の経済的な勉強をすることによってもっと希望が広がった。関西大学大学院で貿易以外に自国フィジー等の発展途上国と国際組織の役割について勉強していく予定である。

周囲から就職するように勧められるが、自分の人生は自分で決めることが大切であり、その結果満足できれば、どうなろうと成功ではないだろう。あと2年かけて学んだことをフィジー人に伝え、フィジーが国際社会に認められ、いっそう経済発展することの手助けになればと考えている。

商学部 ラカボサ クレハ

### いっつになっても学ぶ



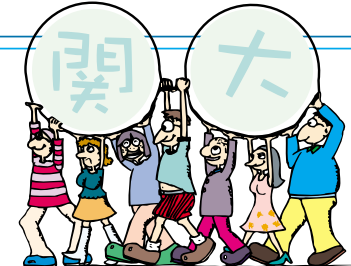
社会人入試を経て、伝統と歴史のある関西大学において実に多くのことを学んだ。

教員のみなさま方の丁寧な指導、心優しい同級生、ゼミ生の支援や社会人学生仲間、友人知人の温かい励ましなど、家族の協力も含め、これらの人びとのお力添えのおかげで学べる機会に感謝している。

在学中は、講義に加え学内外での実習、学会参加、ゼミ合宿、論文作成などで忙しく、主婦としての苦労もあったが、幸い健康にも恵まれ充実した学生生活を過ごせたことに感謝している。

今後は、臨床心理士の資格取得を含め専門職をめざしての研鑽に努め、自由で豊かな関西大学での学びを生かし、いっつになっても学び続けたいと思う。心豊かに過ごし、いささかなりとも他の人の力となれるような生き方ができれば、と考えている。ありがとうございました。

大学院 社会学部研究科 前期課程 福井 真弓





# 卒業するみなさんへ あすを拓く あすを担う 夢は大きく

## 資格取得をめざす人へ



いま日本が変わろうとしています。産業社会はずっと変わっています。みなさんの前には波乱含みの不透明な未来が広がっています。

こうした時に大切なのは、自分の実力を信じ、常にベストを尽くすことです。実力は出すほど向上していきます。関係で培った力を十分に発揮されるよう期待しています。

卒業生にも各種資格講座を積極的に、個性を磨きたいてい。エクスナレッジ・リーダーセンターに問い合わせください。(06 6368 072)

ば利用でき、公認会計士受験に関わる参考書や受験雑誌を備え付け、自習用の机も準備しています。詳細は、商学部への指示を参照してください。

卒業して社会人となる。と情報化の波に加え、国際化・多様化していく現代社会の中で、上手に情報を活用し、自己要求される。また、生涯学習により、自らの人格をより豊かに形成していく努力も不可欠です。

卒業生が働いている職場についてのアンケート調査を実施する予定です。後輩の就職活動の際の貴重な情報となりますので、協力願います。

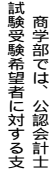
現在就職活動を続けている人びとに対して、キャリアセンターは卒業後も支援してまいりますので、気軽に相談に来て下さい。

キャリアセンターでは、卒業生自身の経験を活かした助言を期待しています。なお、学生が O.B. O.G の連絡先を知る手段として、キャリアセンターまでご連絡ください。(06 6368 1156)

みなさんますます活躍と健勝を祈念いたします。また、就職活動を続ける人びとに対して、キャリアセンターは卒業後も支援してまいりますので、気軽に相談に来て下さい。

許可して頂きます。この取り扱いに賛同しない場合は、キャリアセンターまでご連絡ください。(06 6368 1156)

## 公認会計士 受験



商学部では、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業後の返済計画をしっかりと立て、進延しないよう注意してください。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

## 奨学金の返還 きみの責任 あなたの義務



のと同様、今後はみなさんの返還金により後輩諸君へ奨学金が貸与されていくことを理解願います。

返還方法等については、それぞれの奨学金制度にそれぞれに説明会が行われており、「返還のしおり」等を配布済みなので十分承知していると思います。

返還の期日が近づくと、奨学生には、振替案内等が送付されます。返還関係書類が手元に届かず、連帯保証人に迷惑をかけたたり、延滞利息を加算されたりすることのないよう、卒業後、住所変更・改氏名・連帯保証人の変更等があれば、すみやかに届を提出してください。

長期にわたり着しく返還を怠っている場合は、法的手段に訴えることも含め、厳しい処置がとられます。

卒業されるみなさんのなかには、日本学生支援機構・関西大学、地方自治体等の奨学生として、学業に励んでいた人も多くいます。在学中に貸与を受けた奨学金が先諸君の返還金により運用されています。

返還額と返還期間の概要 - 平成 13 年度入学生の場合 -

種類	貸与月額	貸与総額	返還総額	返還月額	返還年数
第一種 (無利子)	51,000円	2,295,000円	2,295,000円	12,750円	15年
	61,000円	2,745,000円	2,745,000円	15,250円	15年

種類	貸与月額	貸与総額	返還総額	返還月額	返還年数
第二種 (有利子)	30,000円	1,440,000円	1,761,917円	11,293円	13年
	50,000円	2,400,000円	3,018,568円	16,769円	15年
	80,000円	3,840,000円	5,167,586円	21,531円	20年
	100,000円	4,800,000円	6,459,510円	26,914円	20年

貸与総額	返還年賦額	返還年賦額
200,000円以下	50,000円	90,100
200,100 - 300,000円	60,000円	1,200,100
300,100 - 600,000円	70,000円	1,600,100
600,100 - 900,000円	90,000円	3,000,100

関西大学奨学金 (在学中の貸与額によって異なる)

## 図書館

## 情報多様な 生涯学習の場

図書館では多様な情報や情報を探するためのツールを提供し、これからの生涯学習を側面から支援していきたいと考えています。本学の教育研究に支障をきたさない範囲で、困りなりの活用が、在学中と同様、利用していただけます。

① 申込場所 (総合図書館メインカウンター (一階) または高槻図書室)

② 申込方法 申請書に必要事項を記入し、現住所を確認できる書類 (運転免許などのコピー) を添付していただきます。

③ 図書検索システム (K OALA) ④ ネットワーク情報源 ⑤ ネットワークに関するサービスを提供しています。

⑥ 複写サービス (図書館内限定) ⑦ 図書館ホームページ (http://www.kansai-u.ac.jp/library/home.htm)

## 卒業後も支援します 後輩指導もよろしく



卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

## 母校の発展、ステータスアップ



卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。



新卒業生名簿を発行します

このカードを資料として、新卒業生名簿を、発行いたします。この名簿は、校友相互の親睦のためにのみ利用し、第三者に提供しないこととを誓約した方のみに提供いたします。

また、この名簿に住所や勤務先の掲載を希望される方は、お早めにお申し込みください。

校友会が所管する「関西大学校友カード」に「入会費」を納入し、「関係」を年六回 (奇数月) にお届けいたします。

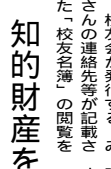
## 心理 相談室

## 悩みことは 気軽に相談

心理相談室では、いろいろな悩みを持った人々を対象に臨床心理士などのカウンセラーが心理相談を行っています。当相談室は卒業生を対象としています。

受付時間 月・土曜日 9時～18時 (火・木曜日のみ 18時まで)

## 知的財産を広く紹介 産業創出発展に貢献



卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

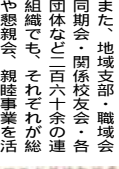
卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

## 振興会



卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

卒業生は、公認会計士試験受験希望者に対するサポートとして、商学部事務室で所定の手続きを完了していただきます。

特集

# 完成年度を迎えた外国語教育学研究科



## 研究科概要

### (1) 「外国語の関大」をめざして

平成 14 年 4 月、本学初の学部を持たない独立研究科として、博士課程前期課程(修士)および博士課程後期課程(博士)の同時開設で、外国語教育学研究科(昼夜間講制)は産声をあげた。以来 3 年が経過し、今年 3 月末に完成を迎えることとなった。

今日、暴力に訴えない「コトバ」を通しての問題解決が、ますます必要とされている。この「コトバ」の教育・研究および運用のスペシャリストの育成をめざして、本研究科は開設された。幸いにして、開設以来多くの受験生に恵まれ、予想をはるかに超える学生諸君が集うことになった(下表参照)。総計 95 人(平成 17 年 2 月現在)という在籍者数は、文系の研究科としては屈指の数と言えよう。

学生の特徴としては、まず全学生の約 70% が、本学以外の大学・大学院の出身者であることが挙げられる。また、インドや中国、台湾、韓国、香港などからの留学生も在籍しており、国際色に富んでいる。有職学生の割合も高く、その中でも、教員(中・高・大)会話学校講師、通訳者などの割合が高い。年齢的には、20 歳代前半から 50 歳代後半までと多様で、出身学部も、文学部、外国語学部、教育学部、学芸学部、経済学部、工学部、情報学部と多岐に渡っている。

### 開設以来の入学者の推移

	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度
前期課程	30 人	29 人	32 人
後期課程	6 人	6 人	9 人

入学定員は前期課程 25 人、後期課程 3 人

### (2) 3 年間の活動

この 3 年間、本研究科は着実に前進を続けてきた。外国語教育学の泰斗 R. Ellis 博士らを招いた研究科開設記念国際シンポジウムの開催を皮切りに、地方自治体の開催する教員研修への講師やアドバイザーの派遣、学校への学生補助員の派遣、関西大学外国語教育学会設立、京都市立京都御池中学校との包括協力協定の締結など、数々の事業を移行してきた。

学生諸君の活動も目覚ましく、国際学会や全国大会で研究発表をしたり、執筆論文が国際雑誌で引用されたり、TOEIC 試験で満点に近い得点を出す学生がいたり、と大いに活躍している。また教員も、多くの著

書・論文を出版しており、たとえば「英語教育図書：厳選今年度の収穫 12 冊」(『英語教育』平成 16 年 10 月増刊号)に 3 冊も本研究科の教員の著書が選ばれたり、言語研究ハンドブックの重要な項目の執筆を任せられる教員がいたり、負けず劣らずの活躍を続けている。

## 将来への新機軸

「コトバ」の持つ可能性を最大限に生かし、「力ではなく、話し合いで問題を解決していく関大人を育成する」という目的を掲げ、次の 10 年で「外国語の関大」といわれるような評判を勝ち得るよう、我々は、さらに前進を続けていきたい。

そのために来年度より、次のような新機軸を実行に移していく。

### (1) 飛び級制度の導入

平成 18 年度入学試験から、外国語教員を志望する本学全学部ならびに、他大学の優秀な学生を対象として、学部卒業を待たずに 3 年次修了後から大学院入学を認める飛び級入試を実施する。

### (2) 魅力的な科目の新設

平成 17 年度から、中学・高等学校の英語授業の「達人」先生たちがリレー形式で担当する『外国語教育特殊研究-授業実践論』や、質的研究の第一人者・箕浦康子氏(お茶の水女子大学客員教授)を迎えての『外国語教育特殊研究-マイクロ・エスノグラフィ』。そして法律英語、工業英語など、専門分野での英語授業を担当できる教員を養成するための『外国語教育特殊研究-E S P』など、魅力的な科目を博士課程前期課程において新規開講する。

### (3) 入学試験(前期課程)における現職教員の外国語試験免除

平成 18 年度入学試験から、現職教員が本研究科を受験する場合には、受験者のこれまでの経験や実績を踏まえて外国語試験を免除し、口頭試問のみでの入学試験を実施する。

### (4) 副指導教員制度の実施

平成 17 年度からは、学生の多様な興味に対応するため、主指導教員に加え、副指導教員を指定して、指導を受けることが可能となる。この制度の導入により、複数の言語の研究や、主専攻言語以外での教育・研究の成果を取り入れていくことが容易となる。この他にも、忙しい現職教員でも修士号がとれる柔軟なカリキュラムの導入や、博士課程後期課程におけるチュート

## 外国語教育学研究科長からのメッセージ

### ゼネラリストを土台としたスペシャリストになってほしい

外国語教育学研究科長 齋藤 栄二

今、世の中が激しく変わろうとしている。世界の事情は、決して理想の世界に描かれたようなものではない。ここ 3、4 年のスパンで国際関係を見回しても、多くの衝突が武力紛争に発展してきている。テロリズム、宗教と宗教の衝突、民族と民族の衝突、利権をめぐる衝突、覇権をめぐる衝突。国内的にも、日々新聞誌上をにぎわす殺傷事件、そしてその低年齢化。

人間は歴史が始まって以来衝突を繰り返してきた。そしてこれからも衝突を繰り返していくであろう。その衝突を力で解決する方向に持っていけば、核を持った現在、人類に未来はない。残された道は、どんなにひ弱に見えても話し合うこと以外にないのである。

コミュニケーションを、異文化を超えて成り立たせるためにはどうすればよいのか。外国語教育学研究科で学ぶみなさんには、こういうことを考えることのできるゼネラリストになってほしい。もちろん大学院で学ぶからには、それぞれの専門においてスペシャリストにならなければならない。しかしその前提として大きく広い視野をもったゼネラリストであってほしい。そのような広い基盤をもとに、未来の社会づくりに貢献できる人間に、ここ外国語教育学研究科の中で力強く育ててほしい。

リアル制の充実、集中講義の強化、授業評価の改善なども改革の俎上にのぼっている。現状に満足することなく、さらなる高みをめざしつつ、常に前進を続けたい。

## 就職の状況

前期課程では、私立学校への就職者が多く、たとえば洛南中学・高等学校、土佐中学・高等学校、平安女学院中学・高等学校、関西中央高等学校などに、修了ならびに在学生在が専任教員として就職を決めている。公立に関しては、府立高校や市立高校の教員への就職者が始めており、今後より一層、教員採用試験の指導力を入れていく予定である。また、少数ではあるが、一般企業や教育関連産業に就職するものもいる。

後期課程においては、本研究科初の課程博士号取得者が、修了と同時に大学の専任教員への着任を決めているほか、後期課程在籍中に大学の専任教員や常勤講師への赴任を決めた学生も出ている。また、近畿圏の大学で、非常勤講師としても多数任用されており、評価は日増しに高まっているものと言えよう。

(外国語教育学研究科)

### 平成 18 年度入学試験進学相談会日程

次の日程で開催しますので、参加願います。

日程	時間	場所
平成 17 年 4 月 27 日(水)・28 日(木)	12:20 - 13:00	千里山キャンパス 2
平成 17 年 6 月 25 日(土)	15:00 - 17:00	
平成 17 年 9 月 17 日(土)	16:00 - 19:00	
平成 18 年 1 月 14 日(土)	15:00 - 18:00	

- 1 学内進学試験志願者のみ対象。
- 2 場所の詳細については、平成 17 年 4 月中旬に大学院事務室に確認のこと。

問い合わせ先  
関西大学大学院事務室  
TEL: 06-6368-1121(代表)  
[http://www.kansai-u.ac.jp/Gr\\_sch/ll/index.html](http://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/ll/index.html)

## 在学生・修了生からのメッセージ



### 池田真生子

博士課程後期課程修了(博士号取得)  
福岡の大学に専任講師として就任予定

大学で非常勤講師をする傍らの大学院生生活。忙しくも充実した 3 年間だった。博士論文の指導に携わっていただいた先生方は、英語教育学の大家ばかりであるにもかかわらず、親身に接してくださった。互いに切磋琢磨し合える博士課程や修士課程の仲間間の存在も大きな支えとなった。3 年間の成果を、4 月からの赴任先で発揮できるよう頑張りたい。



### 宅間 徹志

博士課程前期課程修了  
本研究科博士課程後期課程へ進学予定

外国語教育学研究科には、年齢も経歴も目的も違う個性的なメンバーが集まり、授業では仕事をしながら大学院に通っている現職の教員も、これから外国語教育を志す者も一緒になって活発に議論を交わす。そして、各分野の第一線で活躍する教員陣が我々学生の指導にあたる。日々の授業や課題が大変なこともあるが、学生同士が励まし合うことによって向上することができる。ここはそういうパワーを持った研究科である。



### 廣瀬 旭

博士課程前期課程修了  
香川県立飯山高校教諭に復職予定

教員生活 7 年間で固まりきった授業スタイル、授業観、英語教育に対する姿勢や展望。これらをすっかり壊してもらった 2 年間だった。そして、新たな授業スタイルの芽吹きを手助けしてくれたのも、研究科の授業、先生方、共に学びあった仲間であった。ここで学んだことは、新たな世界への扉を開いてくれるだろう。

### 住 政二郎

博士課程後期課程在学生

「デジタル教材開発と外国語学習支援」をテーマに研究をしている。現在は、関西大学現代 GP の一環として BBC を利用した e-Learning 教材開発に取り組んでいる。また、京都市立京都御池中学校と協定を締結し、現場に直接参加しながら授業や自己学習を支援するデジタル英語教材の開発にも取り組んでいる。学校・地域・企業との連携。この研究科の長所は大学の外にも多様な研究と実践の場があることである。





関大通信 第324号

平成17年(2005年)3月19日  
大阪府吹田市山手町3 3 35  
http://www.kansai-u.ac.jp/  
次号は4月1日発行の予定です

# 私の学んだ 関西大学 4年間



- 7月 キャリアデザインルームがオープン
- 9月 新凱風館が竣成
- 10月 国立台湾大学と交流協定を締結

2001  
(平成13年度)



新凱風館

2002



総合開関戦 アメリカンフットボール

- 4月 大学院外国語教育学研究科を開設  
先端科学技術推進機構が発足  
フィリップ・トルシエ氏  
(サッカー日本代表監督<当時>)が来学
- 6月 総合開関戦、4年ぶりの勝利
- 9月 第3学舎3号館、4号館が竣成
- 11月 「ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム」開催
- 3月 高槻キャンパスに「E棟/教室棟」が竣成



E棟/教室棟

平成14年度

平成15年度

- 4月 昼夜開講制を導入
- 6月 文学部西村健さん  
全日本学生剣道選手権大会で優勝  
アリゾナ大学と交流協定を締結
- 7月 関西大学東京センターがオープン
- 10月 第38代学長に河田悌一文学部教授が就任  
法科大学院棟「以文館」が竣成
- 11月 法科大学院の設置が認可
- 4月 文学部山田沙知子さんが競泳女子自由形800mで短水路世界新

2003



山田沙知子さん



以文館

平成16年度

2004



下小鶴綾さん(右)



第2学舎4号館

- 4月 関西大学中之島センターがオープン  
インフォメーションシステムがリニューアル
- 8月 文学部山田沙知子さん、下小鶴綾さんがアテネオリンピック出場
- 9月 第2学舎4号館が竣成
- 10月 理事長に森本靖一郎氏が就任  
スーパーSINETの運用が開始  
経済学部創設100周年記念国際シンポジウム・記念式典・講演会を開催
- 11月 高槻キャンパスに体育会馬術部の馬場・厩舎が竣成
- 1月 文学部高橋大輔さんが  
ユニバーシアード冬季大会フィギュアスケートで金メダル



今年度卒業を迎えた学生の大半は二十一世紀になって初めての入学生である。前世紀の予想を超越して日々予測不可能になっていく世界へとこれから出て行く学生諸君は、若々しい心を働かせてその世界を誇らし、仕事や生活に精一杯になることだろう。それでも、時には関西大学での日々も自分を作ったのだということを思い出ししてほしい。そして、この喜ばしい卒業よりもっと嬉しい再会があることを願っている。

(関口理久子)



▶ 編集後記 ◀